

平成29年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	フォワード・ジェネティクスによる睡眠覚醒制御機構の解明
研究代表者	柳沢 正史
研究期間	平成29年度～平成33年度
<p>科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見</p>	<p>応募者は、世界的睡眠研究者であり、マウスの大規模なフォワード・ジェネティクスを用いて変異体の原因遺伝子を同定してきた。本研究は、これらの遺伝子の解析からその下流の睡眠覚醒制御機構の解析を進めるとともに、大規模なフォワード・ジェネティクスを再開することで、更なる新奇遺伝子の同定を目指すものであり、大きな研究成果が期待できる。応募者は、これまでにマウスのフォワード・ジェネティクスを用いた研究で、世界で唯一成功を収めたばかりではなく、エンドセリン、オレキシンという重要なペプチドの発見をする とともに、その生理学的理解に極めて大きな貢献をしてきたという卓越した実績を有している。</p> <p>本研究の実施により睡眠覚醒制御機構に関する世界に誇る独創的研究成果を上げると期待できることから、特別推進研究として推進することが適当と考えられた。</p>